

平 成 28 年 度

業 務 報 告 書

平成 28 年 4 月 1 日から
平成 29 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社

事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

第1 総務状況

1 重要な庶務事項

年 月 日	事 項
平成28年5月18日	監事監査実施（決算監査）
平成28年5月19日	第1回 理事会開催 報告事項 事業に係る代表理事の職務執行状況について 議案第1号 平成27年度事業報告及び収支決算について 議案第2号 平成28年度事業計画及び収支予算の補正について 議案第3号 平成28年度会費の賦課について 議案第4号 借入金の最高限度について 議案第5号 通常総会へ提出する役員の候補者名簿について 議案第6号 栽培漁業基金運営委員の選任について 議案第7号 平成28年度通常総会の開催及び提出議案について
平成28年6月17日	通常総会開催 報告事項1 平成27年度事業報告の件 報告事項2 平成28年度事業計画及び収支予算の報告の件 議案第1号 平成27年度計算書類等（貸借対照表及び正味財産増減計算書及び財産目録）の承認の件 議案第2号 平成28年度会費の賦課額の承認の件 議案第3号 役員の報酬額の承認の件 議案第4号 役員選任の件 議案第5号 第2期中期経営計画策定の件
平成28年8月25日	臨時理事会開催 報告事項 事業に係る代表理事の職務執行状況について 議案第1号 臨時総会へ提出する役員の候補者名簿について 議案第2号 栽培漁業基金運営委員の選任について 議案第3号 平成28年度臨時総会の開催及び提出議案について
平成28年10月20日	臨時総会開催 議案第1号 役員選任の件 第2回 理事会開催 報告事項 事業に係る代表理事の職務執行状況について 議案第1号 役付理事互選に関する件について 議案第2号 平成28年度補正予算について

年 月 日	事 項
平成29年 3 月23日	平成28年度栽培漁業基金運営委員会開催 議案第1号 委員長及び副委員長の互選について 議案第2号 平成28年度栽培漁業推進事業及び振興事業報告について 議案第3号 栽培漁業基金の運用について 議案第4号 平成29年度栽培漁業推進事業及び振興事業計画について
平成29年 3 月23日	第3回 理事会開催 報告事項 「事業に係る職務の執行状況について」 報告事項1 平成28年度決算予想について 報告事項2 札幌中税務署による税務調査の結果について 報告事項3 平成29年4月1日付け人事について 報告事項4 栽培公社の「ロゴ」作成について 議案第1号 役員報酬について 議案第2号 平成29年度事業計画（運営計画）及び収支予算について 議案第3号 平成28年度特定資産の取崩（積立）について 議案第4号 諸規定の変更について 協議事項 公社の中期経営計画の進捗と平成29年度の取組について

2 会員の状況

区 分		前年度末現在	本年度増加	本年度減少	本年度末現在
正会員	漁業協同組合	71			71
	市 町 村	77			77
	漁協系統団体	5			5
	計	153	0	0	153
賛 助 会 員		12			12

3 役員の就任状況

区 分	前年度末現在	本年度就任	本年度辞任・退任	本年度末現在
会 長 理 事	1			1
副 会 長 理 事	3	1	1	3
常 務 理 事	1			1
理 事	14	7	7	14
合 計	19	8	8	19
監 事	2		1	1

※本年度就任及び辞任・退任数に重任は含まれていません。

4 職員の異動状況

区 分	前年度末現在	本年度増加	本年度減少	本 年 度 末 現 在		
				男	女	合計
参 事	2			2		2
総 務 部	4			1	3	4
裁 培 推 進 部	12	1		11	2	13
調 査 事 業 本 部	17	2		16	3	19
事 業 開 発 室	2			2		2
合 計	37	3	0	32	8	40

5 賛助会員（順不同）

株式会社ゼニライトブイ
株式会社ドーコン
株式会社エコニクス
株式会社西村組
小針土建株式会社
萌州建設株式会社
真壁建設株式会社
北辰建設コンサルタント株式会社
一般社団法人 北海道水産土木協会
北海道電力株式会社
株式会社アルファ水工コンサルタンツ
株式会社福田水文センター

第2 事業実施状況

1 栽培漁業指導事業

(1) 講座・セミナー・育成等事業（研修指導事業費）

栽培漁業に関する研修を目的とした研修指導事業のうち、「育てる漁業研究会」は再開2年目となり、300名近くの参加者を得て、概ね良好な評価を得た。「漁業生産技術研修会」は枝幸漁業協同組合で開催した。

また新たな取り組みとして、関係部門・関係機関との連携協力の下、「全道シシャモ勉強会」を開催した。

研修事業実績

研 修 テ ー マ	実施時期	開 催 地
漁業生産技術研修会 「秋サケの付加価値の付け方を考える・ 前浜からの付加価値向上について」	平成28年10月19日	枝 幸 町
育てる漁業研究会 「栽培漁業の未来へ向けて ～付加価値を高める取組への挑戦～」	平成29年1月20日	札 幌 市
全道シシャモ勉強会	平成29年1月17日	札 幌 市

(2) 調査研究・情報提供等事業

① 広報誌「育てる漁業」の発行（広報事業費）

栽培漁業に関する事業、試験研究、地域の活動や人物の紹介等を掲載した広報誌「育てる漁業」を年4回発行し、約450機関に配布した。

② 北海道沿岸漁場海況速報事業（広報事業費）

栽培漁業推進の基礎資料とするため、道内の沿岸漁場45か所において毎日観測した水温を、旬ごとにまとめ、過去10年間の平均水温と対比して速報するほか、年間の水温、気象を取りまとめて「北海道沿岸漁場海況観測取りまとめ」としてホームページで掲載した。

また、瀬棚、羽幌事業所を始め道内4か所に設置した自動水温観測装置からインターネット発信するリアルタイム情報「いま、何℃？」は、1か所増設され全5か所に、また、新たな3地点からの発信情報「今日、何℃？」を加え、内容を充実させた。

③ 種苗生産事業実績報告（広報事業費）

当栽培公社が行っているヒラメ、マツカワ、ニシン、クロソイ、エゾアワビ等の種苗生産について、平成27年度事業の経過及び実績をとりまとめ、ホームページに掲載した。

④ 技術ノウハウの収集や情報の提供等（栽培基金事業指導費）

事業開発室では、「栽培漁業に関する教育普及、技術指導及び情報の提供」に必要なデータや知見、各種ノウハウや取組事例を調査・収集し、それらの活用に向けた検討と情報提供を行った。

⑤ 調査研究事業

i) 種苗生産技術等開発試験調査（技術開発試験調査事業費）

伊達事業所で取り組んでいるマボヤ採苗試験は、前年配付の種苗の成育が思わしくなかったことから、採苗方法や量産に向けた手法を再検討し、試験種苗系2,500mを噴火湾から桧山までの海域に配付した。

熊石事業所において、将来の事業化に向けた技術習得の目的で実施したバカガイ小規模種苗生産試験は、平均殻長5.6mm稚貝を12千個余り生産し、基礎的飼育データを得た。

ii) 共同研究などの取組み（調査研究費）

栽培漁業に関する広範なテーマに基づく地域活動団体・大学・研究機関との共同研究事業は、ドローン活用によるアマモ現地調査などの取組みが始まった。

(3) 栽培漁業指導事業予算と執行額

(単位：千円)

事業名	予算額	執行額	増減
研修指導事業	1,085	819	△266
広報事業	3,717	3,299	△418
技術開発試験調査事業	411	618	207
栽培漁業基金事業指導費	5,082	3,403	△1,679
調査研究費	5,000	6,252	1,252
合計	15,295	14,391	△904

2 栽培漁業推進事業

2-1 ヒラメ種苗生産事業

(1) 事業の概要

放流サイズや生産時期の変更による大幅な事業の見直しによる経費節減に着手した年であったが、瀬棚事業所でのウイルス性疾病の発生により効果について十分検証できなかった。

瀬棚事業所では、全数を処分し、羽幌事業所で追加の種苗生産を行ったが、放流数は計画の2,200千尾に対し、1,659千尾にとどまった。

(2) 種苗生産、放流実績

羽幌事業所

全長30mm種苗 1,290千尾 —— (中間育成) —— 全長60～80mm種苗1,100千尾放流
600千尾

瀬棚事業所

(中間育成) —— 全長70～90mm種苗 559千尾放流
(羽幌事業所より種苗導入)

地区協議会別放流数

(単位：千尾)

区 分	地区協議会	放流尾数	放流箇所数
羽 幌 事 業 所	宗 谷	290	9
	留 萌	400	8
	石狩・後志北部	410	11
	小 計	1,100	28
瀬 棚 事 業 所	後 志 南 部	184	4
	檜 山	177	5
	津 軽 海 峡	198	9
	小 計	559	18
合 計		1,659	46

2-2 マツカワ種苗生産事業

(1) 事業の概要

伊達事業所において全長30mm種苗を1,330千尾生産し、伊達事業所で869千尾、えりも事業所で461千尾を中間育成し、えりも以西海域に全長80mm種苗を1,055千尾放流した。また、えりも以東海域に全長50mm種苗100千尾と全長80mm種苗を80千尾供給した。

(2) 種苗生産、放流実績



(3) えりも以西海域地区別放流数

(単位：千尾)

区 分	地 区 協 議 会	放流尾数	放流箇所数
伊 達 事 業 所	渡島東部海域栽培漁業協議会	50	3
	噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	175	9
	噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会	175	6
	胆振太平洋海域漁業振興協議会	200	6
えりも事業所	日高管内栽培漁業振興協議会	455	16
合 計		1,055	40

(4) えりも以東海域地区別供給数

(単位：千尾)

区 分	地 区 協 議 会	供給尾数	全長(mm)	備 考
伊 達 事 業 所	十勝管内栽培漁業推進協議会	50	50	中間育成後放流
	根室管内栽培漁業推進協議会	50	50	中間育成後放流
	釧路管内栽培漁業推進協議会	80	80	直接放流
合 計		180		

3 栽培漁業振興事業（種苗生産等支援助成事業）

地域の協議会等が実施する種苗生産、中間育成、放流等の事業に対して、振興基金運用益から助成した。

栽培漁業振興事業実績

(単位：千円)

事業主体	対象魚種	助成対象 事業費	助成承認 金額	助成金 執行額
島牧漁業協同組合	マゾイ	3,752	1,750	1,623
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	クロソイ	6,911	3,253	2,598
砂原漁業協同組合青年部	マナマコ	1,141	557	557
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	クロソイ	7,728	3,755	3,493
ひだか漁業協同組合	ハタハタ・クロソイ	5,032	2,329	2,329
えりも町栽培漁業振興協議会	マガレイ エゾボラ	2,045 1,379	968 687	968 469
えりも漁業協同組合	マナマコ	1,589	737	64
日高管内栽培漁業推進協議会	ハタハタ	9,793	4,594	4,594
十勝管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	7,495	3,663	3,363
大津漁業協同組合	クロソイ	2,311	1,086	1,086
根室市	ハナサキガニ ホッカイエビ	2,264	1,048	1,048
根室管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	4,683	2,376	2,295
根室管内ニシン種苗生産運営委員会	ニシン	18,050	8,493	8,098
野付漁業協同組合	マナマコ クロガレイ	752 726	348 336	348 336
羅臼漁業協同組合	マガレイ マナマコ	1,425 1,296	660 600	660 600
網走市水産振興協議会	マナマコ	725	336	228
網走漁業協同組合	ホッキガイ	1,303	603	603
常呂漁業協同組合	マナマコ	1,084	502	464
沙留漁業協同組合	マナマコ	738	350	350
宗谷漁業協同組合	マナマコ	2,986	1,382	1,382
北るもい漁業協同組合	ハタハタ マナマコ	557 300	270 140	216 140
余市郡漁業協同組合	マナマコ	2,376	1,100	1,100
東しゃこたん漁業協同組合	マナマコ	3,807	1,762	1,762
島牧漁業協同組合	マナマコ	2,616	1,125	1,011
乙部地区ナマコ振興協議会	マナマコ	2,700	1,250	1,250
室蘭漁業協同組合	マナマコ	2,305	1,067	1,058
根室漁業協同組合	マナマコ	2,157	1,004	861
増毛漁業協同組合	マナマコ	5,341	2,195	2,195
合計 28 団体	12 魚種	107,367	50,326	47,149

4 水産多面的機能発揮対策事業

藻場や干潟の保全を中心とした環境・生態系の維持回復や漁村の活性化、海の安全確保に関する漁業者等が行う活動を支援するため、栽培公社が地域協議会として事業実施主体である活動組織に対し事業実施に必要な経費を助成した。

助 成 件 数	135件
助 成 額	555,084,442円
協議会運営費	13,678,191円

5 エゾアワビ種苗生産事業

熊石事業所において種苗生産を行い、平成27年度産の殻長25mm～30mm種苗731.3千個と、平成28年度産殻長15mm～20mm種苗113.9千個の合計845.2千個を要望先へ供給した。

次年度供給用の平成28年度産種苗については、秋期に冷水塊流入による海水温の急激な低下があり、減耗と成長の停滞があった。そのため、次年度は、要望殻長に対し、5mmダウンの規格で供給することとした。

供給サイズ別内訳

(単位：千個)

年度\殻長	15mm	20mm	25mm	30mm	計
平成27年度産			110.0	621.3	731.3
平成28年度産	100.0	4.0	9.7	0.2	113.9
合 計	100.0	4.0	119.7	621.5	845.2

6 日本海ニシン栽培漁業総合対策事業

(1) 日本海ニシン種苗生産事業

「日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗2,000千尾を生産し、宗谷・留萌・石狩、後志北部海域の各協議会に供給した。

協議会別放流尾数

(単位：千尾)

地区協議会	放流尾数	放流箇所数
宗谷管内栽培漁業推進協議会	300	2
留萌管内栽培漁業推進協議会	530	6
石狩湾ニシン資源栽培漁業振興協議会	730	4
北後志ニシン資源栽培漁業振興協議会	440	8
計	2,000	20

(2) 後志南部ニシン種苗生産事業

「後志南部地域ニシン資源対策協議会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗400千尾を生産し、同協議会に供給した。

(3) 桧山ニシン種苗生産事業

「ひやま地域ニシン復興対策協議会」の要望により、瀬棚事業所において、全長60mm種苗1,000千尾を生産し、同協議会に供給した。

7 クロソイ種苗生産事業

会員からの要望により、瀬棚事業所において、種苗生産を行い、全長30mm種苗226千尾を生産し、要望先へ供給した。

供給先別内訳

(単位：千尾)

供 給 先	尾数
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	70
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	126
室蘭漁業協同組合	10
大津漁業協同組合	20
合 計	226

8 マナマコ種苗生産事業

会員等からの要望により、熊石事業所、瀬棚事業所及び羽幌事業所において、体長10mm以上（平均体長23～26mm）の種苗を合計1,542千個体、道内各地の要望先に供給した。

事業所別供給個体数

(単位：千個)

生産事業所	平均体長 (mm)	供給箇所数	供給個数
熊 石	23.7	16	838
瀬 棚	26.0	9	674
羽 幌	25.6	2	30
合 計		27	1,542

9 ハタハタ種苗生産事業

日高管内栽培漁業推進協議会からの委託により、えりも事業所において全長25mm種苗3,800千尾を生産し、供給した。

10 調査事業

(1) 平成28年度の当初事業計画に対する受託実績

金額の単位：円

受 託 先	受 託 計 画		受 託 実 績	
	件 数	金 額	件 数	金 額
国（開発建設部等）	12	391,400,000	12	418,338,000
道（建設管理部等）	13	169,400,000	13	182,358,000
公 社 会 員	6	16,700,000	9	16,207,600
その他（一般企業等）	11	42,500,000	10	50,407,920
合 計	42	620,000,000	44	667,311,520

(2) 受託実績の概況

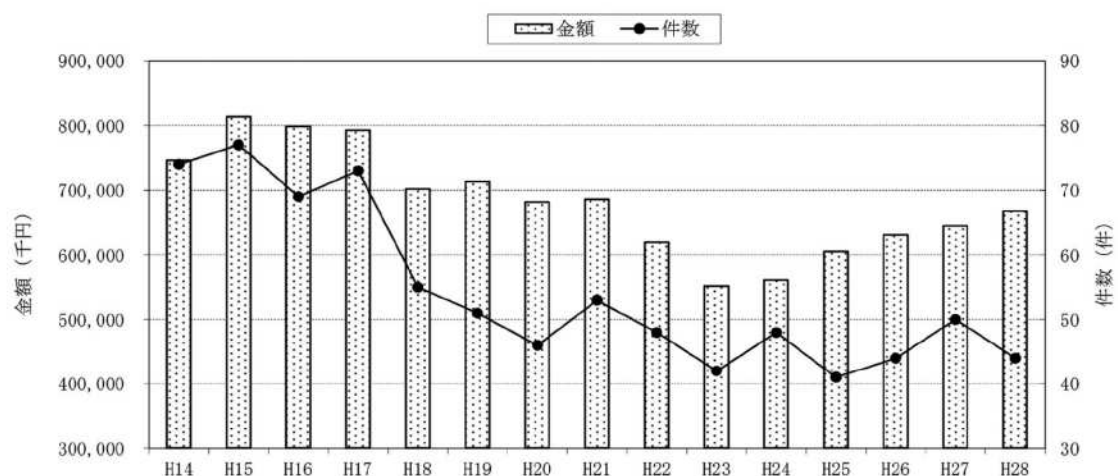
全体では、受託計画の件数42件、金額620,000,000円に対して、受託実績は、件数で44件、金額で667,311,520円となり、件数については4.8%、金額については7.6%の増加であった。

受託金額について受託先別に見ていくと、計画に対して国は6.9%、道は7.6%の増加であった。また、公社会員、その他（一般企業等）は合わせて12.5%の増加であった。

(3) 受託実績の推移

平成14年度以降15ヶ年の受託実績の推移をみると、平成15年度の件数77件、金額約8億1千万円をピークに減少傾向を示していたが、金額については平成23年度を底として増加に転じている。

平成28年度については、前年度からみて、件数では6件の減少であるが、金額では約2千3百万円上回っている。



受託実績の推移（平成14年度以降）